



株式会社ユニカフェ  
2022年9月26日

各位

## 当社神奈川総合工場の電力が実質的に再生可能エネルギー由来 100%に

株式会社ユニカフェ（本社：東京都港区、代表取締役社長：芝谷博司）は、カーボンニュートラルへの新しい取組みとして、2022年9月より、神奈川総合工場で使用する全電力を実質的に再生可能エネルギー由来電力に切り替えました。これにより、同工場で使用する電力から排出されるCO<sub>2</sub>が実質ゼロとみなされます。

### 【目的】

コーヒーの製造時には大量の電気を使用する必要があり、その電気を発電するために多くのCO<sub>2</sub>が排出されています。当社では、2025年度のCO<sub>2</sub>排出量を2019年度実績値より46%削減することを目標に掲げており、その施策の一つとして、実質再生可能エネルギー由来の電力を採用しました。

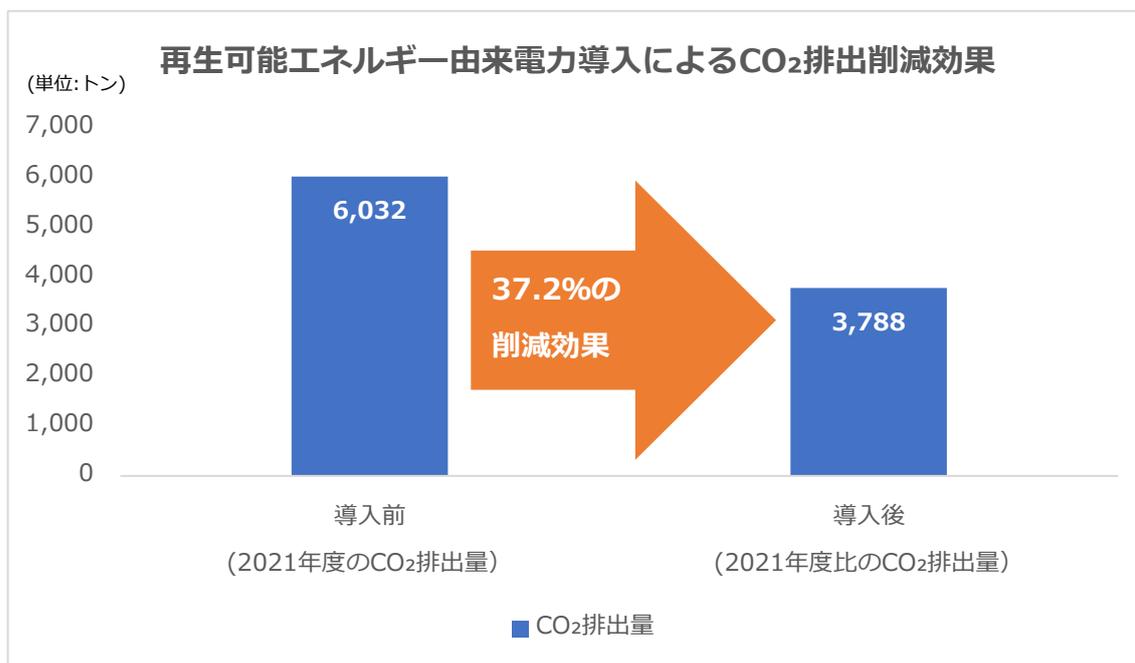
### 【カーボン・オフセット内容】

今回、当社が採用した楽天エナジーの「REco プラン」の内容は以下の通りです。

1. 再生可能エネルギー由来の非化石証書により、CO<sub>2</sub>排出量ゼロの付加価値がある。
2. 地球温暖化対策の推進に関する法律において、CO<sub>2</sub>排出係数をゼロとしてCO<sub>2</sub>排出量の算定ができる。
3. トラッキング情報により、再生可能エネルギー由来の非化石証書の発電所所在地などの属性情報を特定し付与することで、RE100にも適合が可能となる。

### 【CO<sub>2</sub> 排出削減効果】

2021年度の神奈川総合工場の電力使用量約598万kWhから算出すると、再生可能エネルギー由来電力導入によるCO<sub>2</sub>排出削減量は約2,244t-CO<sub>2</sub>に相当します。これは、2021年度の神奈川総合工場からのCO<sub>2</sub>排出量の約37.2%に相当します。



(注) 本グラフは、2021 年度における削減効果の実績ではなく、再生可能エネルギー由来電力に切り替える前の 2021 年度年間の CO<sub>2</sub>排出量が、仮に 2021 年度において再生可能エネルギー由来電力に切り替えていた場合における年間で見込まれる CO<sub>2</sub>削減効果を表しております。

以上

— 本資料に関するお問い合わせ先 —

株式会社ユニカフェ 取締役執行役員管理本部長 新述孝祐

〒105-0004 東京都港区新橋 6 丁目 1 番 11 号

[TEL:03-5400-5444](tel:03-5400-5444) FAX:03-5400-5812